

質問に対する回答書

契約件名		関越自動車道 本庄児玉～水上間舗装補修工事	
番号	質問箇所	質問事項	回答
1	標識撤去工について	特記仕様書21-13-1種別 標識柱B・Cは複柱式となっておりますが、38/104詳細図では単柱となっております。単柱式でよろしいですか。また、甘楽PAの詳細図は100下で切断となっております。上里SAは地表面での切断となっております。各々、別と考えてよろしいですか。	標識柱B・Cについては設計図38/104標識詳細図に示す構造でお考えください。また、標識柱の切断位置は各々別とお考えください。
2	工場製コンクリート縁石A-1について	設計図42/102に工場製コンクリート縁石A-1の詳細図が2種類表記されています。これらの数量の内訳ご明示ください。	設計図10/102横断図(2)、設計図12/102横断図(4)、設計図13/102横断図(5)、設計図15/102横断図(7)、設計図16/102横断図(8)、設計図17/102横断図(9)、設計図25/102身障者・二輪車・EV駐車場詳細図及び設計図40/102交通管理施設平面図に記載のとおり、工場製コンクリート縁石A-1のうち基礎材の施工幅200mmのタイプが167.8m、施工幅280mmのタイプが10.2mとなります。
3	工場製コンクリート縁石Bについて	設計図24/102に工場製コンクリート縁石Bの詳細図が表記されています。材料表にブロックの長さが600と表記されていますが、長さが990のものを使用してもよろしいでしょうか。また、詳細図に基礎材が描かれていますが、材料表に基礎材の表記がありません。基礎材は必要でしょうか。ご教示ください。	設計図24/102工場製コンクリート縁石Bの材料については、材料表に記載の仕様でお考えください。また、設計図24/102工場製コンクリート縁石Bの材料として基礎材（再生クラッシュラン）が必要となります。
4	ます閉塞工について	設計図19/104に塞ぎ板の表記があり、縦×横が700×700と図面から読み取れますが、板の厚さ及び材質が不明です。ご明示して頂けないでしょうか。	塞ぎ板の厚さ及び材質については、碎石による間詰の際に破損しない材料であれば指定はありませんが、厚さ5mmの鋼板を想定しております。
5	路面剥取工A及び路面剥取工A(夜)について	路面剥取工Aにおいて設計図84/112詳細図(12)の表中の下斉田橋(上下)及び上滝橋(上下)の縁石撤去時と端部防水時を合わせた数量が設計図7/112数量表(3)に表記されると思われませんがこの数量が違っているように思われます。また、路面剥取工A(夜)において設計図84/112詳細図(12)の表中の神田橋E及びFランプの縁石撤去時と端部防水時を合わせた数量が設計図7/112数量表(3)に表記されると思われませんがこの数量が違っているように思われます。このままの数量で積算してもよろしいでしょうか。ご教示ください。	設計図7/112数量表(3)の路面剥取工A及び路面剥取工A(夜)の数量については、設計図84/112詳細図(12)に加えて設計図86/112詳細図(14)の数量も含まれます。
6	割掛対象表 参考内訳書について	有料道路料金費の高崎～高崎・藤岡～藤岡のIC名が分かりません。	高崎JCT～高崎IC及び藤岡JCT～藤岡ICとなります。